

# JAMSTEC

## Library Communication No.108



12月のセミナーは、深海に生きる生物の「食」がテーマです。  
図書館の資料の中から、深海生物の捕食に関する本を紹介します。



『超(チョー)ぱっくり口のアンコウとおっかな顔の魚たち』

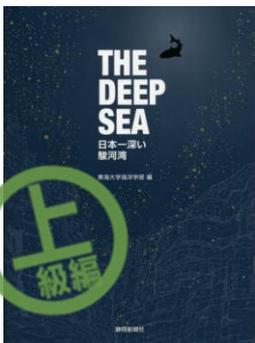
レイチェル・リネット著、吉上恭太訳 / 鈴木出版刊

インパクトがある表紙の本！全5巻の『深海生物大集合』シリーズの1冊で、主に深海生物の生態について児童向けに解説されています。この巻ではアンコウやホウライエソ、オニキンメといった深海のコワモテが何を食べるのか、どうやって捕食しているのかを紹介すると共に、乱獲や海洋汚染、温暖化によって彼等の深海に危機が迫っていることに警鐘を鳴らしています。



『深海生物の奇妙な生態』 深海生物研究会編著 / 宝島社刊

海の中は捕食によって食物連鎖が成り立っています。海面から海底へと順に餌が運ばれていくのですが、餌の少ない極限環境である深海においては、生き抜くために奇妙な形状になった生物が数多く存在します。「長期保存のため丸飲みした魚が胃からとび出ている」という、にわかには信じがたいオニボウズギスの姿も、生きるための工夫なのです。いまだ多くの謎に包まれた深海の、調査の歩みも交えつつ、深海生物の不思議な生態を掘り下げる1冊です。



『THE DEEP SEA : 日本一深い駿河湾』 東海大学海洋学部編 / 静岡新聞社刊

日本一深い駿河湾について、地形、海水、生物等、様々な研究成果からアプローチ。お膝元である東海大学海洋学部の教員が共同執筆し、地元新聞社が出版した1冊です。駿河名物サクラエビが捕食のために深海→浅海間を移動することによって水深の違う生物を食物連鎖で繋ぐなど、豊かな生態系は、その地形的な特徴に根ざしていることがよく分かります。



「読書マラソン」 やってます！

本を読んで、カードに感想を書いたら、くじを引いてね。  
JAMSTEC でしか手に入らないグッズが当たる！  
何が当たるかはお楽しみ♪ (12/28 貸出分までが対象。)

【休館のお知らせ】

年末年始はお休みです  
12/29 (金) ~ 1/3 日 (水)  
皆様良いお年を！

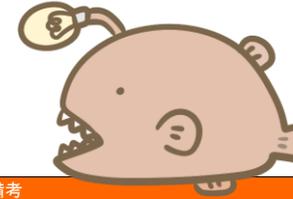


# 第215回地球情報館公開セミナー 参考文献一覧

開催日時:平成29年12月16日 13:30~15:00

## 「飼う、みる、測る—深海生物の餌を知る方法」

講師:野牧 秀隆 (生物地球化学研究分野)



### ★講師おすすめの図書・参考文献

#### <専門書>

書名	著者名	出版社名	講師コメント・備考
1 潜水調査船が観た深海生物: 深海生物研究の現在 = Deep-sea life: biological observations using research submersibles (第2版)	藤倉克則, 奥谷喬司, 丸山正編著	東海大学出版会	★JAMSTECの研究者が多数執筆しています
2 深海の生物学	ピーター・ヘリング著; 沖山宗雄訳	東海大学出版会	

#### <雑誌・一般書>

書名	著者名	出版社名	講師コメント・備考
1 <a href="#">Blue earth: 海と地球の情報誌</a>		海洋研究開発機構 横浜研究所広報部広報課	★大人も楽しめる、JAMSTECが刊行する海洋地球科学に関するオールカラーの情報誌。 「JAMSTEC文書カタログ」( <a href="http://www.godac.jamstec.go.jp/catalog/doc_catalog/j/index.html">http://www.godac.jamstec.go.jp/catalog/doc_catalog/j/index.html</a> ) でバックナンバーを無料閲覧できます。最新号は、地球情報館受付にて1冊308円で販売中!
2 特別展「深海2017最深研究でせまる“生命”と“地球”」	国立科学博物館ほか編	NHKほか	★今夏、JAMSTECの全面協力により開催された、国立科学博物館特別展の図録です。 JAMSTECの研究者が多数執筆しています。

#### <児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 生物の源・海の不思議(ドラえもん科学ワールド)	藤子・F・不二雄まんが ; 小学館ドラえもんルーム編	小学館	講師コメント: 深海生物というよりも海や地球という環境のことを全体的に知ることが出来ます。 まずは基本から知りたい方に。
2 深海の生物(ポプラディア大図鑑WONDA)	藤倉克則監修	ポプラ社	★JAMSTECの研究者が監修しています

★テーマ関連参考資料リスト: 今回は深海生物や生態学に関する図書を図書館2Fに多数展示しています。

#### <専門書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 魚の形は飼育環境で変わる: 形態異常はなぜ起こるのか?	有瀧真人, 田川正明, 征矢野清編	恒星社厚生閣	★新着図書
2 THE DEEP SEA: 日本一深い駿河湾	東海大学海洋学部編	静岡新聞社	★(裏面)Library Communication No.108で紹介しています
3 海と生命: 「海の生命観」を求めて	塚本勝巳編	東海大学出版会	

#### <一般書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 魚はすごい	井田齊	小学館	★新着図書
2 美しき捕食者(プレデター) サメ図鑑	田中彰監修	実業之日本社	★新着図書
3 いただきますの水族館: 北の大地の水族館で学ぶ「いのち」のつながり	中村元, 山内創	瀬戸内人	★新着図書
4 深海生物の奇妙な生態	深海生物研究会編著	宝島社	★(裏面)Library Communication No.108で紹介しています
5 世界に一つだけの深海水族館	石垣幸二監修	成山堂書店	

#### <児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 発光する生物の謎	マーク・ジマー著; 近江谷克裕訳	西村書店	★新着図書
2 超(チョー)ぱっくり口のアンコウとおっかな顔の魚たち	レイチェル・リネット著; 吉上恭太訳	鈴木出版	★(裏面)Library Communication No.108で紹介しています



上記の資料は2018年1月17日まで横浜研究所地球情報館2F図書館にて展示しております

(図書館の開館時間 平日10:00~17:00、公開セミナー開催の第3土曜日10:00~16:00)

お問い合わせ: 海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課 横浜図書館 045-778-5476 library@jamstec.go.jp